

# 琉球大学学術リポジトリ

## 写真や図を中心にみる琉球の農作物主要病害虫 (14)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-06-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田盛, 正雄 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/20490">http://hdl.handle.net/20.500.12000/20490</a>

## 写真や図を中心にみる

# 琉球の農作物主要病害虫 (14)

## 害 虫

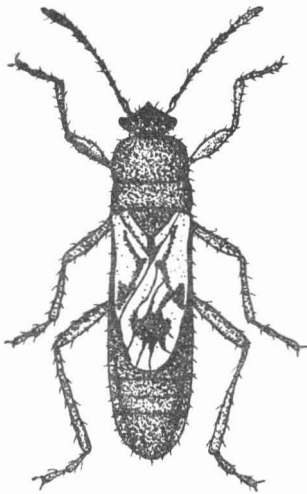
### カンシャコバネナガカメムシ

形態・ 体長7-9ミリメートルの黒い虫で、ハネは白く、その上に黒色の模様がある。触角の第一節は黄白色で、他はかっ色。脚は黄かっ色。

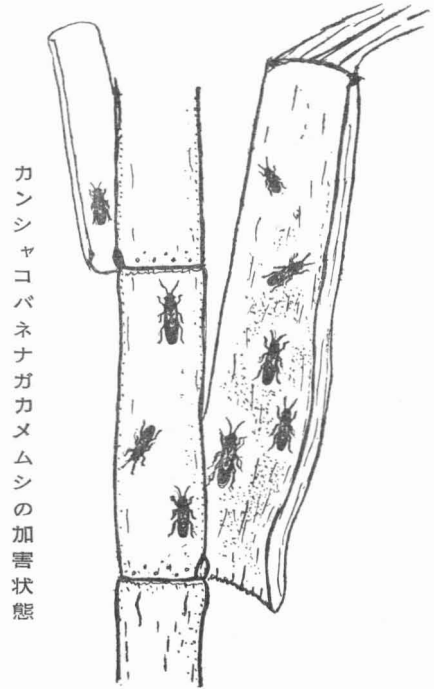
加害・ サトウキビの大害虫で、年中発生し、その害は大きい。サトウキビの芯葉や葉鞘の内側に住み、吸取口で葉から汁を吸って害を与える。卵は葉鞘の内側に20-30粒ずつ1-2列に産みつけられ、それから孵化した幼虫は紅色をしていて、やはり汁液を吸収する。

### 防 除

- △ 不用の下葉をはく葉してとり除く。
- △ 卵や幼虫は苗とともに他へ運ばれるから、苗の選択に注意する。
- △ BHCの1-3%粉剤を葉鞘の内側にしみ込むように散布する。
- △ 天敵のクロタマコバチの保護増殖をはかる。



カンシャコバネナガカメムシ



### ニカメイチュウ

形態・ 体長1.4ミリメートル内外、ハネの開張2.3-2.7ミリメートル。頭、胸、前ハネは黄かっ色、又は暗灰かっ色、腹部と後ハネは白色。前ハネのふちに黒点の列がある。

幼虫は、縦に5本のかっ色の線があり、イネの茎の中に潜在する。

蛹はかっ色、1.2ミリメートル、茎内でうすいまゆを張って蛹化する。

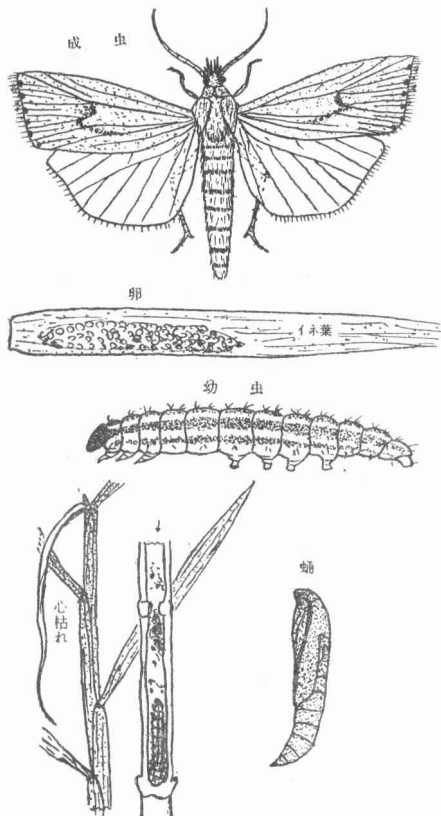
加害 イネの大害虫で、イネのほかアワ、マモコ、ムギ、ジュズダマ、ガマ、ススキ、ミズビエ等のイネ科植物を加害する。

年中発生するが、二期作に多発して大害を与えることがしばしばある。

## 防 除

- △ 葉鞘が変色した茎や芯枯茎を除去する。
- △ 収穫後のイネわらなどを水田に放置しないこと。
- △ 誘蛾燈で成虫を誘殺する。
- △ 幼虫の発生初期にマラソンなど浸透性のある液剤を散布する。

ニカメイガ



ウリミバエ

**形態**・ 成虫は、体長6ミリメートル内外で、一見小さな蜂に似ている。全体黄色または黄赤色。ハネの前縁は黄色で、し脈にそって数個の暗かっ色の色紋がある。

卵は、長さ約1.3ミリメートル、白色、細い円筒形で少し扁平。

幼虫は、体長10ミリメートル内外、乳白色または黄白色、無脚のウジで、前端はとがり、尾端ていくに従って膨大している。

蛹は、長さ約6ミリメートル、だ円形で黄かっ色。

**加害**・ キュウリ、スイカ、カボチャ、ヘチマなど、瓜類のほか、トマト、ナス、イチジク、トウガラシ、青エンドウ、ササゲ、タマナ、パパイヤ、マンゴウなど多くの作物を加害する。

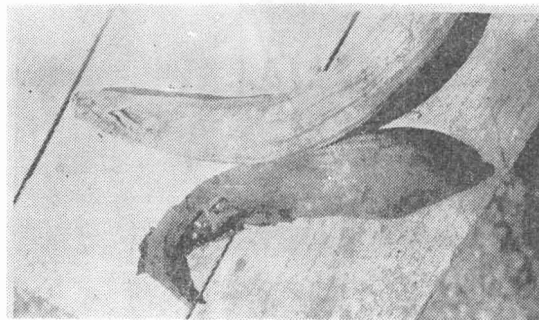
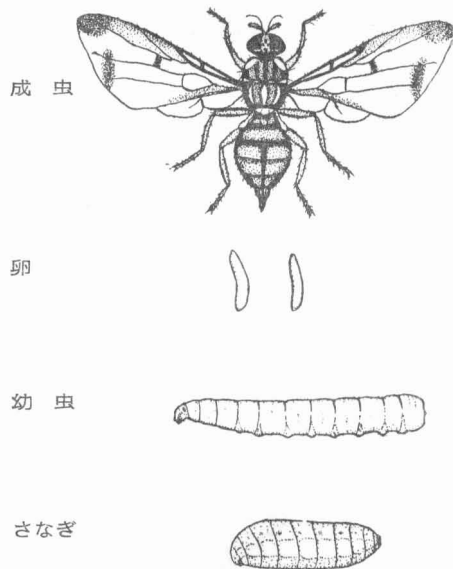
幼虫は、果肉を加害するので、被害果は早熟、落果腐敗する。老熟幼虫は、土中またはまれに表皮下で蛹化する。宮古、八重山に発生して毎年その害は大きい。

## 防 除

- △ 果実に袋かけをする。
- △ 落果その他の被害果は集めて焼きすてる。
- △ 成虫を蜂蜜や黒糖液などで食し誘殺する。
- △ 天敵の輸入保護増殖をはかる。

(田盛正雄)

ウリミバエ



ウリミバエによるヘチマの被害果